



いわた生協

2017年4月号

復興支援活動ニュース

2017年3月30日発行

いわた生協 組合員活動チーム

電話：019-603-8299

FAX：019-687-1117

暖かい日も多くなり、春に近づいてきましたが、いかがお過ごしでしょうか。
2017年度もご支援、ご協力をお願いいたします。

さて、今月より「コープ・ボランティア・センターニュース」から「復興支援活動ニュース」と名称を変更し、内容をバスボランティアやふれあいサロン以外のいわた生協で行っている支援活動全般のお知らせも併せてご報告いたします。

発行日は、25日前後(休日の場合は翌週)となりますのでご了承ください。お願いいたします。

3.11活動報告

ベルフ山岸での様子

東日本大震災発生から6年が過ぎました。今年も亡くなられた多くの方々を悼み店内で、震災発生時刻の14時46分、黙祷をしました。

また、当日は、募金活動とネクタイプロジェクト商品や復興グッズ支援団体連絡会「コレカラ」の商品の販売を行いました。(ネクタイプロジェクト商品の売り上げは支援募金になります)



こ～ぷ委員さんが全県で募金の呼びかけをし、多くのご協力を頂きました。

2016年度報告

☆ この6年間、一日も早い復興を願い、組合員の協力の力と全国の生協の支援のもと4つの柱にそって支援活動を継続してきました。

- ①買物支援：移動店舗や無料バス、個配手数料の減免
 - ②被災地の生業・仕事づくり支援：被災メーカー、生産者の商品紹介、復興フェスタ
 - ③笑顔と元気を届ける活動：仮設住宅集会所でのふれあいサロンやバスボランティア
 - ④震災を風化させない活動：募金や被災地見学ツアーなど
- また今年から、沿岸部で支援活動を継続する団体へ「被災地支援活動助成金」も実施。

☆ 被災地の復興は着実にすすんでいます。いわた生協は、今後も仮設住宅にお住まいの方がいるうちは震災支援の活動を継続していきます。

☆ 組合員や常勤者、全国の生協から寄せられた募金は、宮古・山田の無料お買物バス、ふれあいサロン、バスボランティア、被災地でのコンサートや子供映画会などの取り組みに使われています。

(2016年度 約3,000万円)

バスボランティア



17年度のバスボラがスタートしました。通算164回目の3月26日(日)は、田老町漁協へ行き、この時期おなじみとなった「わかめの箱詰め」作業を行いました。収穫後ボイルされ、塩をまぶし脱水した物を12キロずつビニール袋へ入れてさらにコンテナへつめる作業です。この日は偶然、バスボラで陸前高田の活動先の1つである「椿の道」の運営会社・ネパリバザーのボランティアツアーも来ており、ネパリバザーの代表からも感謝の意が伝えられました。また、帰りには、田老町漁協の海産物の買い物をしてきました。



ふれあいサロン



3月で終了となったサロンが、釜石松倉A・大槌吉里吉里第5・大船渡木町・陸前高田長部小と要谷の5か所ありました。どの会場でもみなさんの今後の幸せを願って、お別れ会をしました。

今月のサロンの様子とボランティアの声

<陸前高田 矢作中仮設>

<大船渡 赤崎大立仮設>

<大槌 吉里吉里仮設>



最後にみんな笑顔で記念写真！



手作り餃子！
誰が上手のできるかな？



みんなで食事は楽しいね！



大船渡のボランティアさんの記念写真

お茶っこをしながら思いでを振り返りました。とても辛い体験をした皆さんですが、いつも笑顔で待っていてくれました。“ありがとう”の言葉でしか表せません。すでに引越した世帯が多く、しばらくは落ち着かない日々が続きそうですが、落ち着いたら仮設の同窓会や温泉旅行の話も出ているようです。サロンの最後の最後でとうとう涙が溢れてきてしまいました。ふれあいサロンが終わることが皆さんが前に進む一歩であることを信じたいと思います。
(大槌町吉里吉里第5仮設)

小友町の新居での生活(通院・買物など)の大変さを考え毎日精一杯の様子。「私たちの訪問で元気を維持して今日まで来れた」「心強く楽しかった」と笑顔の感謝をいただきました。
(大船渡市木町仮設) ※木町仮設のサロンは3月で終了

「サロンに来て皆さんと話をしながら作品を作るのが一番の楽しみだった！」と言っていた、とても励みになりました
(大槌町小槌第14仮設)

食の支援

復興公営住宅2か所で生協料理サロンを開催しました。

3/18 宮古鴨崎県営アパート 5名の参加
皆さん手際よくアツという間に完成

3/23 釜石大町4号住宅 3名の参加
味の素さんと共催。寿司職人だった男性、流石の手さばき！



◆ふれあいサロン「ボランティア交流会」◆

花巻・北上・一関・宮古・釜石でボランティア交流会を開催しました。サロン会場を離れて、ボランティアの感想やサロンへの思い、今後の活動への意欲などを交流しました。
また、今後の活動の進め方や2017年度のいわて生協での取り組みについて確認をしました。

「楽しみ！」と言っていたので、頑張って行かせてもらっています！

長いような、あっという間の6年間でしたが、まだまだ仮設があるうちは訪問したいと思います！



キット作り

●●● キットの在庫情報 ●●●

- ・アームカバー
- ・ふくろう
- ・あめちゃん袋
- ・ティッシュボックスカバー
- ・ハギレとフェルトの小さい小物入れ (小)
- ・にわとり (小)

など

※詳しくは事務局までお問い合わせください

支援を ありがとう



お菓子のご支援

- ・「コープいしかわ」さん
- ・「京都生協」さん
- ・「福井県民生活協同組合」さん

現地でのご支援

- ・2/24(金)大槌「さいたま生協」

キットのご支援

- ・「コープこうべ」さん …

ふくろうキット・つばきのブローチキット・和布ブローチ・牛乳パックの小物入れ、3行レシピバインダー(作成済)

釜石でのボランティア交流会の様子



自分も年で、健康が気になってきましたが、沿岸の皆さんが元気いっぱい頑張っておられるので続けていきたいと思います。

●●● キット作りありがとう ●●●

- ・ネクタイポーチ (にのへコープ)
- ・ネクタイ解き (ちょぼらくらぶ花巻)
- ・ネクタイポシェット (にのへコープ)
- ・ネクタイネックレス布切り (にのへコープ)
- ・ビニール袋入れ (一関ふれあいサロン応援隊)
- ・鍋敷き (岩手郡ちごゆりこ〜ぶ委員会)
- ・ハギレとフェルトの小さな小物入れ (けせんちょぼら、釜石ちょボラ、大槌ちょボラ、東いわいコープ、にのへコープ、釜石なでしこくらぶ、個人のみなさん)
- ・にわとり (水沢ぺこぼらくらぶ、久慈コープ、にのへコープ、花巻あうるこ〜ぶ委員会、にのへゆいっこ〜ぶ委員会)



岩手郡ちごゆりこ〜ぶ委員会の活動風景



★ 事務局からのお知らせ ★

- ・4月以降、いわて生協の沿岸ボランティア活動をする場合は、平成29年度のボランティア保険(天災タイプ:天災A:500円、天災B:710円)への加入が必要となります。
手続きが必要な方は事務局へご連絡ください。
当日までにボランティア保険への加入確認ができない場合はお断りする場合があります。
- ・4月より盛岡発のサロンバスは一般道での移動となります